

薬物を誘われても「NO!」と言える
勇気を持とう!



薬物乱用 ダメ。 ゼツタイ!!!

覚醒剤・
シンナー・大麻
危険ドラッグの
乱用を
なくそう!

薬物乱用とは何ですか？

危険な薬物を、面白半分で悪用することです。
病気の治療に使う薬を、本来の目的以外に使うことも乱用になります。

薬物を乱用するとどうなりますか？

一度でも乱用を始めると、止められなくなります。
脳や体のいろいろなところに障害が現れて、たった一度の乱用でも死んでしまうことがあります。

覚醒剤

- 脳(精神障害)
 - ・他人から殺される
 - ・見張られていると感じる
 - ・悪口が聞こえる
 - ・自分の体に毛虫がついているなど



- 眠れない
- 食欲がない
- 食欲減退(衰弱)
 - ・ものを食べたくなくなり、体力が低下する



危険ドラッグ

- 脳
 - ・意識を失い、倒れる
 - ・あばれて、他人にケガをさせる
- 肺
 - ・呼吸が出来なくなる
- 胃
 - ・吐き気が止まらない

依存性

薬物が欲しいという気持ち
がわいてきて、コント
ロールできなくなります。

注意

危険ドラッグには、何が含ま
れているのかわかりません。
他にも予想出来ない悪影響
(最悪は「死亡」)があります。

やく ぶつ らん よう ぼう し
薬物乱用を防止するための
 とち ぎ けん き きょう れい
栃木県の決まり(条例)が、
できました!

やく ぶつ らん よう
 薬物乱用ダメ。ゼッタイ!! みんなが
 あんしん くら かんきょう
 安心して暮らせる環境をつくるまる。



やく ぶつ こと ば りょう かく
薬物はいろいろな言葉で誘惑します。

こんな言葉はすべてウソ!

きもち が いいよ

みんな やってるよ

べんきょう
 勉強ができる ようになるよ



ねむい が さめるよ

やせられるよ

いっかい
 一回だけなら 平気さ

ゼッタイに誘いに 乗ってはダメです。

ご家族の方といっしょに読んでください
親と子供の薬物防止術 ~薬物に手を出さないためには~

現代は情報社会といわれ、様々な情報が氾濫しています。このような環境の中、子供たちを薬物乱用から守るためには、親も子供も正しい知識を身につけることが大切になります。是非、家庭でも薬物の問題について話す機会をつくってください。

親の 心構え

1. 子供の話を注意深く・真剣に聞く
2. 子供の年齢に適した情報を与える
3. 子供が選択する機会をたくさん与える
4. 独自の行動をとってもよいと教える
5. ルールを守ることを教える
6. 様々な題材について家族で話し合う機会をつくる
7. まず、自分たちが正しい行動を示す

子の 心構え

1. 友だちをたくさんつくろう
2. スポーツや音楽などを楽しもう
3. 学校であったことを家族に話そう
4. 決められたルールは守ろう
5. 目標をもって行動しよう
6. 誘われても絶対にNo(ノー)と言える勇気を持とう

まずは家族のコミュニケーションから。薬物乱用は防げる問題です。

とち ぎ けん とち ぎ けん やく ぶつ らん よう たい さく すい しん ほん ぶ
栃木県・栃木県薬物乱用対策推進本部

薬物乱用相談電話(県庁薬務課) ☎028-623-3779 (匿名可)